

市町村名		山ノ内町		1	線引きの有無	□有 ■無	
2-1 面積 (ha)	市町村全面積：A	26,590.0		2-2 地域 区分 (ha)	都市地域	1,526.5	
	都市計画面積：B	21198.6	B/A%		79.7%	農業地域	1,248.7
	白地地域：C	20981.3	C/A%		78.9%	森林地域	23,185.6
	用途地域：D	214	D/A%		0.8%	自然公園区域	18,177
	低層～中高層：D-1	54	D-1/D%		25%	自然保全地域	0
	住居～準住居：D-2	91	D-2/D%		43%	その他	629.2
	商業系：D-3	69	D-3/D%		32%	出典 第4次国土利用計画山ノ内町計画 上信越高原国立公園（志賀高原）計画書	
	工業系：D-4	0	D-4/D%		0%		

3
人口
動向
(人)

年	人口	世帯数
平成12年 (2000年)	16,384	5,040
平成17年 (2005年)	15,451	5,037
平成22年 (2010年)	14,366	5,019
平成27年 (2015年)	13,351	5,011
令和2年 (2020年)	12,148	5,032

・全人口は平成12年をピークに減少傾向にあり、令和2年の人口はピーク時と比較すると25.9%減少している。

出典 山ノ内町都市計画マスタープラン

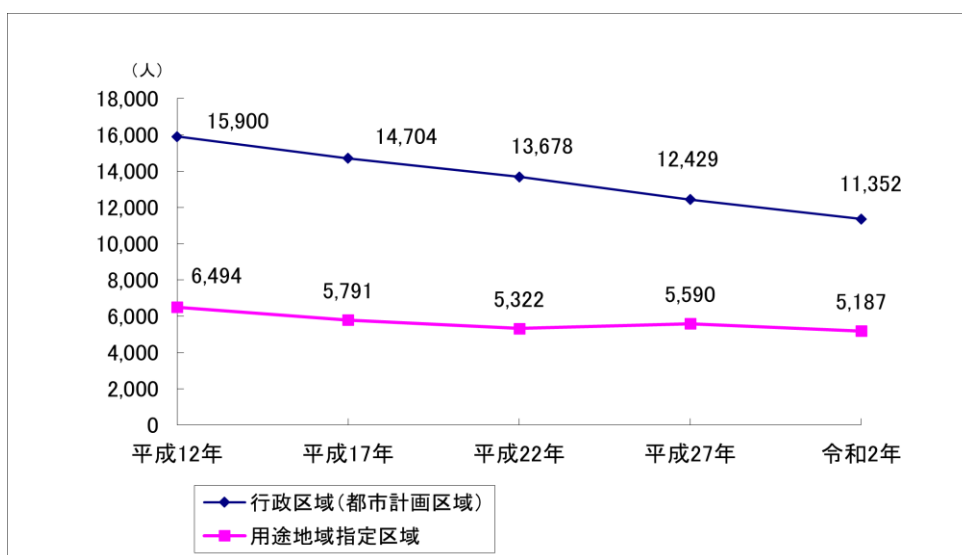
産業別就業人口

年	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業割合 (%)	第2次産業割合 (%)	第3次産業割合 (%)
平成12年 (2000年)	2,155	1,791	5,237	23.5	19.5	57.0
平成17年 (2005年)	2,051	1,466	4,879	24.3	17.4	57.9
平成22年 (2010年)	1,883	1,304	4,326	17.2	17.2	57.0
平成27年 (2015年)	1,772	1,192	4,096	18.8	17.0	57.7
令和2年 (2020年)	1,574	1,086	3,629	17.0	16.8	56.8

・令和2年の各産業別就業人数は、平成12年と比較すると、第1次産業は27.0%減少、第2次産業は39.4%減少、第3次産業は30.7%減少している。

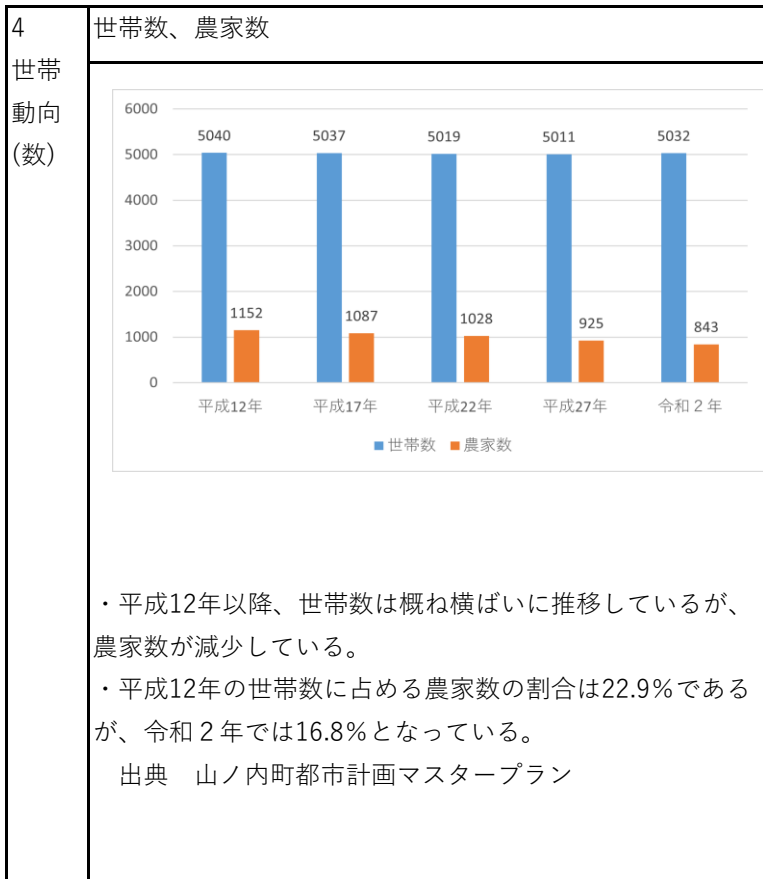
出典 山ノ内町都市計画マスタープラン

都市計画区域内人口



- ・都市計画内人口は平成12年をピークに減少しており、令和2年と比較すると28.6%減少している。
- ・用途地域内人口は平成12年をピークに減少し、令和2年と比較すると20.1%減少している。

出典 令和2年度 都市計画基礎調査



5 国土利用計画策定

(単位：ha)

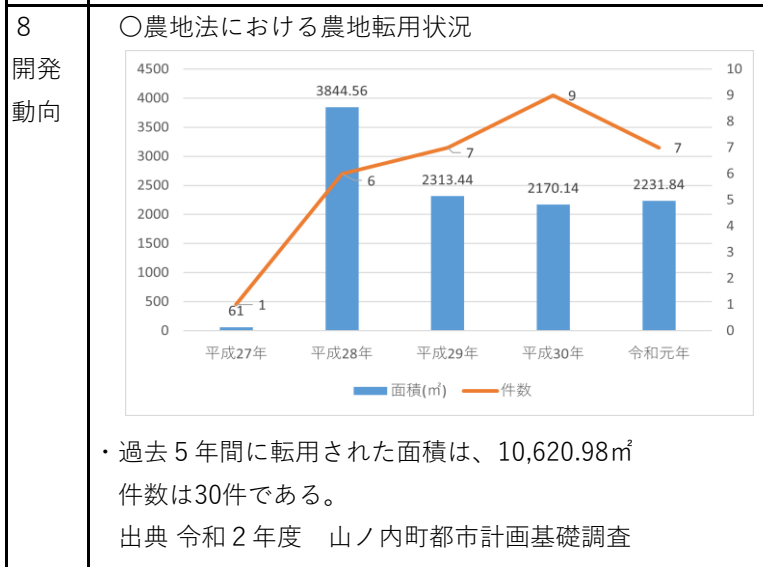
区分	基準年次	目標年次
	令和元年	令和12年
農用地	1025	1021
森林	23452	23455
原野	528	528
水面・河川・水路	444	444
道路	223	224
宅地	332	330
その他	586	588
合計	26590	26590

・農地については、農業振興地域整備計画を見直しつつ他の土地利用との調整を図り、生産基盤の整備拡充、農地の流動化・集約化により農地利用の効率化を図ります。
 ・宅地については、安全・安心、快適な居住環境の整備を促進するとともに、需要に応じた適正規模の宅地の供給を促進し、持続可能でコンパクトな市街地の形成、ゆとりある快適な環境の構築に努めます。
 出典 第4次国土利用計画山ノ内町計画

6 行政区域特性

・長野県の北東部に位置し、上信越高原国立公園の中心にあって、東西 39km、南北 12km、面積 26,590ha の行政区域を有しています。周囲を 2,000m 級の山々に囲まれた盆地であり、88%（うち 7 割余が志賀高原）が山林原野で占められ、約 1,900m の標高差が多様な植生と変化に富んだ景観をもたらしています。集落は、河岸段丘や扇状地状の緩やかな傾斜地と高原を中心に分布しています。
 出典 第4次国土利用計画山ノ内町計画

- 7 建築条例要綱等
- ・渋温泉 渋湯組地域景観づくり住民協定（平成31年1月31日）
 - ・金倉組景観づくり住民協定（平成29年3月27日）
 - ・山ノ内町風致地区内における建築等の規制に関する条例・同施行規則（平成26年3月24日）
 - ・景観条例・同施行規則（平成24年3月23日）
 - ・山ノ内町宅地開発及び中高層建築物指導要綱（平成元年6月22日）
 - ・山ノ内町屋外広告物に関する規則（平成12年2月17日）
- 出典 令和2年度 山ノ内町都市計画基礎調査



9 建築動向

○新設建築物着工件数 (件)

	用途地域内	用途地域外	都市計画区域合計
住宅	23	33	56
商業	3	2	5
工業	3	3	6
その他	6	8	14
合計	35	46	81

・平成30年から令和4年を集計し、住宅が着工された割合は69.1%であり、うち用途地域内の割合は28.3%である。
 出典 山ノ内町年度別確認件数(H30～R4)

白地 地域の 立地特 性等	1. 法規制等	<p>○農業振興地域の整備に関する法律</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域 1,313.8ha ・農用地区域 1,196.0ha <p>○森林法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域森林計画対象民有林 17,863ha (山ノ内町森林整備計画) <p>○自然公園法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上信越高原国立高原(志賀高原地域) 18,177ha 		
	2. 公共施設、公益施設の整備状況	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路は8路線、延長16,262mが都市計画決定されており、延長13,764mが整備済みである。 ・町道は、202,191.3mのうち改良率は44.3%である。 	
		下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道(山ノ内町処理区)計画面積239haである。接続率は96.2%である(接続人口4,789人/対象人口4,976人)。 ・特定環境保全公共下水道(上条南部処理区)計画面積95haである。接続率は90.5%である(接続人口2,670人/対象人口2,949人)。 ・農業排水集落(西部・北部)の処理区域面積は175.0haである。接続率は84.8%である(接続人口2,253人/対象人口2,656人)。 ・公共下水道は山ノ内町水質浄化センターで行っている。 ・農業集落排水の処理は、クリーンセンターよませとクリーンセンターすがかわで行っている。 	
		その他都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園は令和4年度末現在3か所(街区2か所、緑地1か所)、面積11.98haが供用されている。 ・琵琶池駐車場(駐車場)が0.16haが計画決定、供用されている。 ・北信保健衛生施設組合 東山清掃工場(ごみ焼却場)1.52haが計画決定されているが、整備は未着手となっている。なお、計画場所は中野市内である。 	
	3. 開発行為の動向	<ul style="list-style-type: none"> ・白地地域内における開発許可状況は、過去5年(平成27年～令和元年)で0件である。 <p>出典 令和2年度都市計画基礎調査</p>		
4. 現況の建築物立地特性	<ul style="list-style-type: none"> ・用途地域周辺には、水田や果樹園を中心として農地が広がっており、既存集落が存在している。 ・町内各スキー場の周辺では、ホテル施設が連担している。 			
5. 備考	(その他特記すべき事項)			